



ALTお手製 英語教材100種

中高生向け文法、リスニング

新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中、県内の中学、高校に配置されている外国語指導助手（ALT）約100人が独自の英語教材を作った。ワークシートや動画、リスニング教材などバラエティーに富む約100種類。県教委は「できるだけ早く学校現場で活用したい」としている。（牧野将寛）

県内の学校が3月から休校したことを受け、県教委が4月上旬、再開後に授業などで活用できる教材の制作をALTに依頼した。

ALTたちは、それぞれの得意分野を生かして教材を作った。ワークシートの中には、文法などに加え、生徒に興味を持つてもらえるよう、すしや校則などをテーマにしたものも。英検など外部試験用の教材もある。

福井市大東中のマッカーシー・フィンギンさん（40）は、自己紹介の表現をテーマにした中1用の動画を制作した。「ワクワクドキドキする楽しい動画」をコンセプトに、休校延長となった5月上

自己紹介の表現をテーマに、フィンギンさんが1人2役を演じた英語教材動画の一場面

県内100人 休校中に

旬から自身のスマートフォンで撮影し、動画配信サイト「ユーチューブ」風に仕上げた。

動画では、フィンギンさんが「マイネームイズフィン」などと語り掛けながら登場。簡単な英語で出身地や好きな色、食べ物などを紹介することにも、音声速度を変えたりなどの工夫も凝らしてユーモアあふれる3分間に仕上げた。フィンギンさんは取材に対し「入学式が延期になり、1年生とはなかなか会えず寂しかった。楽しんでもらえるとうれしい」と話していた。

動画教材は今後、県教委のユーチューブチャンネルに掲載する。県教育総合研究所のホームページに教材を保管し各校が授業などで使えるようにする。